

農業によるまちづくりで 取手市の少子高齢化は解決できるのか

6年 A組 高橋 芽依



なぜ取手市？

地元

地域の人と繋がることのできるコミュニティが多くある取手市が好き

BUT

- ・子育てがしにくく見える
- ・高齢者と子どもが関わりあえる場が減っている



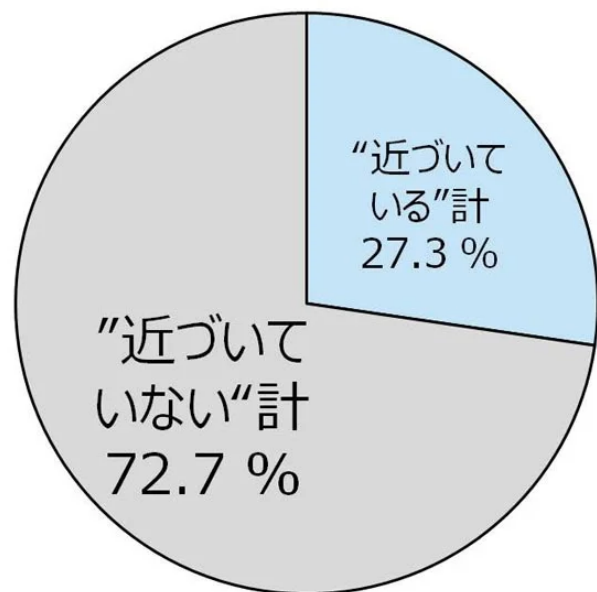
1. 日本における少子化の背景
2. 取手市の子育て支援の課題
3. 農業と子育ての両立ができるまちづくり

目次

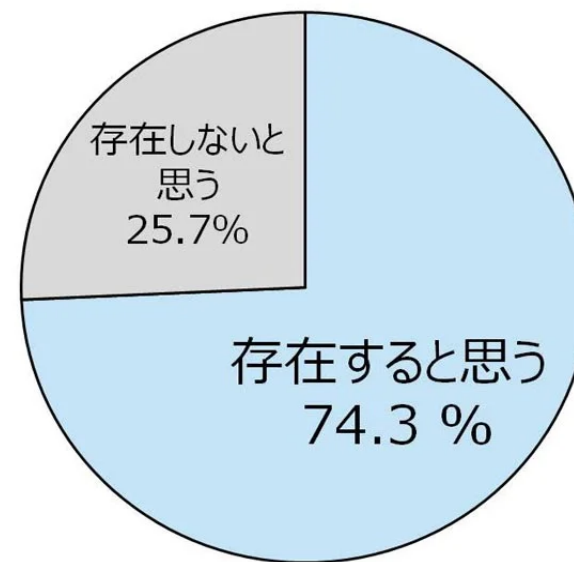


1. 日本における少子化の背景

日本は子どもを「育てやすい」国に
近づいていると思う (n=2948,SA)



あなたご自身のご家庭を考えた時に、
『2人目の壁』は実際に存在する
と思いますか (n=2948,SA)



1. 日本における少子化の背景

女性が子どもを産ま（め）ない理由は晩婚化だけではない！

- ・ 女性が**仕事と育児の両立ができない**
- ・ **経済的不安**

⇒ 日本が子どもを産みにくい・育てにくい社会であることが問題



1. 日本における少子化の背景

ひとり親家庭の半数以上が**相対的貧困**
シングルマザーの平均年収は**約243万円**

シングル
ファーザー
約420万円

日本全体
約436万円

育児によって労働時間が限られる

→ **非正規雇用**が多い

⇒ 養育費を十分に確保できない



2. 取手市の子育て支援の課題

💖 子育てコーディネーター・保育コンシェルジュ

(窓口・事前予約制)

💖 地域子育て支援センター

(月～金曜日 10時～12時 13時～16時)

💖 放課後子供クラブ

(小学生のみ)

支援を
求めている人が
利用しにくい



3. 農業と子育ての両立ができるまちづくり

取手市には**耕作放棄地が多い**

→**農業を始められる土地が十分にある**ということ

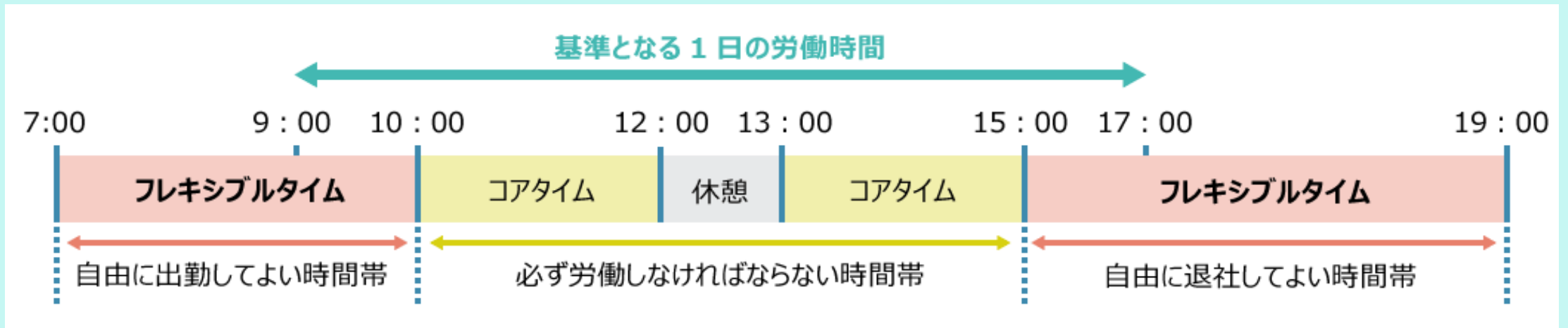
取手市に住んで、取手市で働くことで、、、
子どもと一緒に居られる時間が増える**!!**



3. 農業と子育ての両立ができるまちづくり

フレックスタイム制を導入した農業法人の設立

→シングルマザーでも働きやすい**正規雇用**の場を提供



3. 農業と子育ての両立ができるまちづくり ～農業法人のメリット～

- 安定した給与を得られる
- 土づくりを新たに始める必要×
- 初期費用×
- スマート農業で重労働が減る

高齢化によって
担い手が
不足している
農業を救える！



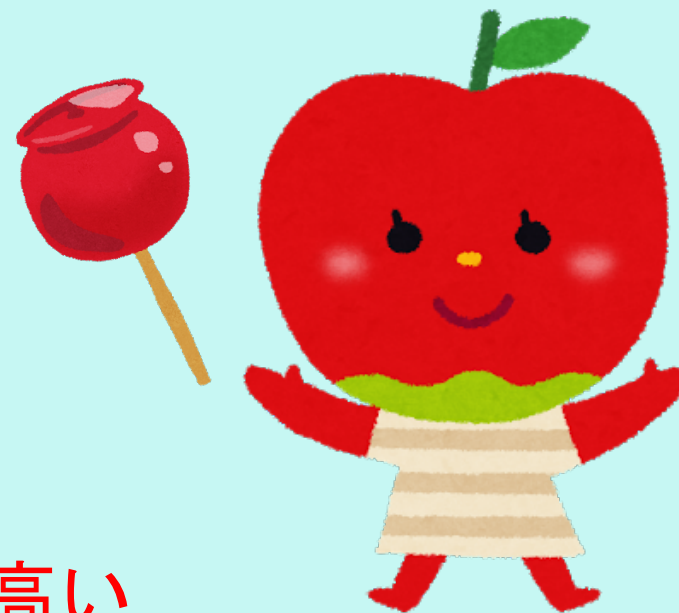
3. 農業と子育ての両立ができるまちづくり ～JAと連携した児童館の設立～

参考：JA秋田の「りんごちゃん広場」

- ・ 農作物の栽培と収穫、消費→食育

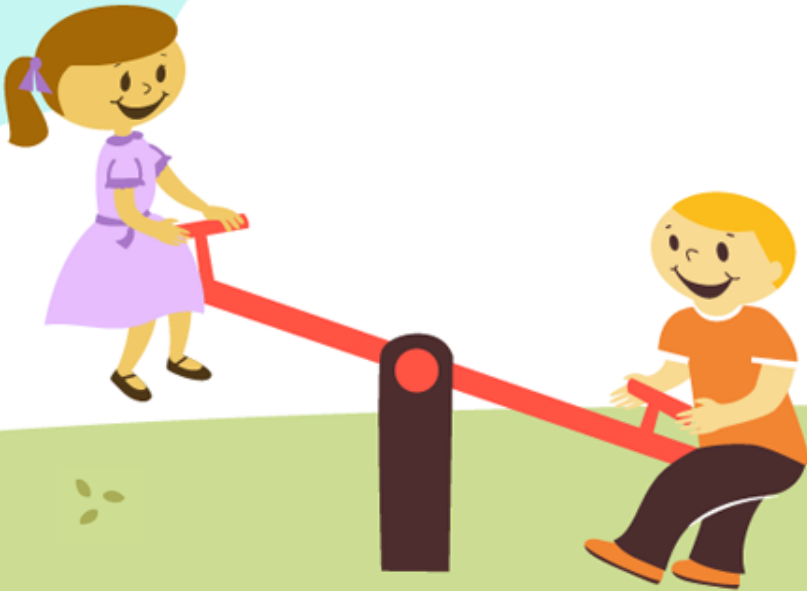
＋農産物を離乳食・加工品として販売

- ・ 子どもとの交流を求めて 高齢者の利用率も高い



今後のめいの動き

- これらの政策を実現するために
取手市の土地利用を考える
- 農業法人や児童館の経営戦略を考える



進路

まちづくりを行うにあたって

安定した**経済循環**をどう作り上げていくべきか学びたい

⇒**経済・まちづくり**を扱う大学への進学を希望



職員室にあるアイデアボードの ご協力よろしく申し上げます!!!

